



目の健康を守る視能訓練士を目指す学生と教員による 地域・おめめの健康サポート運動

外界から得られる情報の80%を支える「目」。人が、健康的で豊かな人生を送る上で重要な役割を果たしている「目」の健康を守るための様々な地域貢献活動や、視覚を活用することが困難になった方の外出時のサポートなどを通して、医療系国家資格「視能訓練士」に必要な知識や技術、医療人としての考え方や態度の修得を目指しています。

活動紹介（抜粋）

Photo gallery



地域の子どもたちが集うイベントで視力検査の練習コーナーを企画・運営



視覚障がい者の外出を支援するガイドヘルパー資格も取得可能。



幼稚園での視力検診業務



子どもたちがリラックスして検査に臨めるよう自作の検査アイテムを制作。



学外での演習も実施。声かけをはじめ、様々なかかわり方を学びます。



子どもたちが主体的に検査を受けられるよう雰囲気づくりも大切です。

先生の声

Professor's Voice



医療福祉学科 視能訓練専攻
丸山 亜実 准教授

地域の子どもたちや視覚障害の当事者とのかかわりを通して、視能訓練士として、人とかかわり支えることの本質を学んで欲しい。

本専攻で学ぶ学生たちには、正課の授業や実習以外でも、対人援助の専門職である視能訓練士に必要なとされるものは何かを自らに問い、答えを探していくような体験をたくさん経験して欲しいと思っています。この活動は、あくまで専門分野からのアプローチですが、多くの地域の方々とのふれあいを通して、自分なりの視能訓練士としての在り方を確立することができれば、将来医療の現場で出会う患者さまにかかわるときに力を発揮することができるでしょう。



Osaka University of Human Sciences

学校法人 薫英学園
大阪人間科学大学

医療福祉学科 視能訓練専攻